

日南市公共施設等総合管理計画

(個別施設計画)

幼児・児童施設編

令和2年3月

こども課

1. 対象施設

平成29年度末現在、幼児・児童施設は2施設で、延床面積の合計は467.00㎡となっております。

No.	施設名	所在地	総床面積 (㎡)	棟数
1	細田児童館	日南市大字萩之嶺570	298.00	1
2	酒谷児童館	日南市大字酒谷乙9063	169.00	1
合計			467.00	2

2. 計画期間

令和2年（2020年）度から令和8年（2026年）度までの7年間とし、進捗状況の結果等を踏まえて、適宜、計画を見直すものとします。

3. 対策の優先順位の考え方

(1) 施設の役割

児童福祉法に基づき、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的として設置された施設です。

(2) 現状と課題

酒谷児童館は、平成30年4月から児童数の減少のため休館しています。

細田児童館についても、児童数の減少により、平成31年4月から休館しています。

酒谷児童館、細田児童館いずれの施設も築後50年を越えており、酒谷児童館は耐震診断を未実施で、細田児童館は要改修の診断結果が出ています。

(3) 今後の施設の考え方

酒谷児童館、細田児童館とも、建築後50年以上が経過し、耐震に問題があるため、地域の保育ニーズの把握や地元との協議を行いながら、廃館、建物の取り壊しを進め、跡地利用等についても検討を行っていきます。

4. 施設の状況等

(1) 施設性能

No.	施設名	建築年度	経過年数	構造	耐用年数	残寿命年数 (年)	耐震		大規模改修	
							診断	改修	年度	改修
1	細田児童館	S40年度	52	S	34	-18	済	未		
2	酒谷児童館	S39年度	53	W	22	-31	未	未		

(注1) 平成29年度末現在の状況について記載

(注2) 複数の建物からなる施設については、主たる建物について記載

※構造: W=木造、RC=鉄筋コンクリート、SRC=鉄筋鉄骨コンクリート、S=鉄骨、LGS=軽量鉄骨、CB=コンクリートブロック

※残寿命年数: 耐用年数-経過年数[基準年度-建築年度]

※耐震診断: 新=新耐震基準(建築年がS57年以降)、済=旧耐震基準(建築年がS56年以前)であるが耐震診断実施済み、

未=旧耐震基準で耐震診断が未実施、不=旧耐震基準であるが新耐震基準で建てられているため、耐震診断不要

※耐震改修: 新=新耐震基準、済=耐震改修が実施済み、未=耐震診断未実施又は耐震改修が必要だが未実施

不=旧耐震基準であるが耐震改修が不要

※大規模改修: 屋=屋根改修、屋上防水改修、壁=外壁改修、他=設備改修、内装その他改修

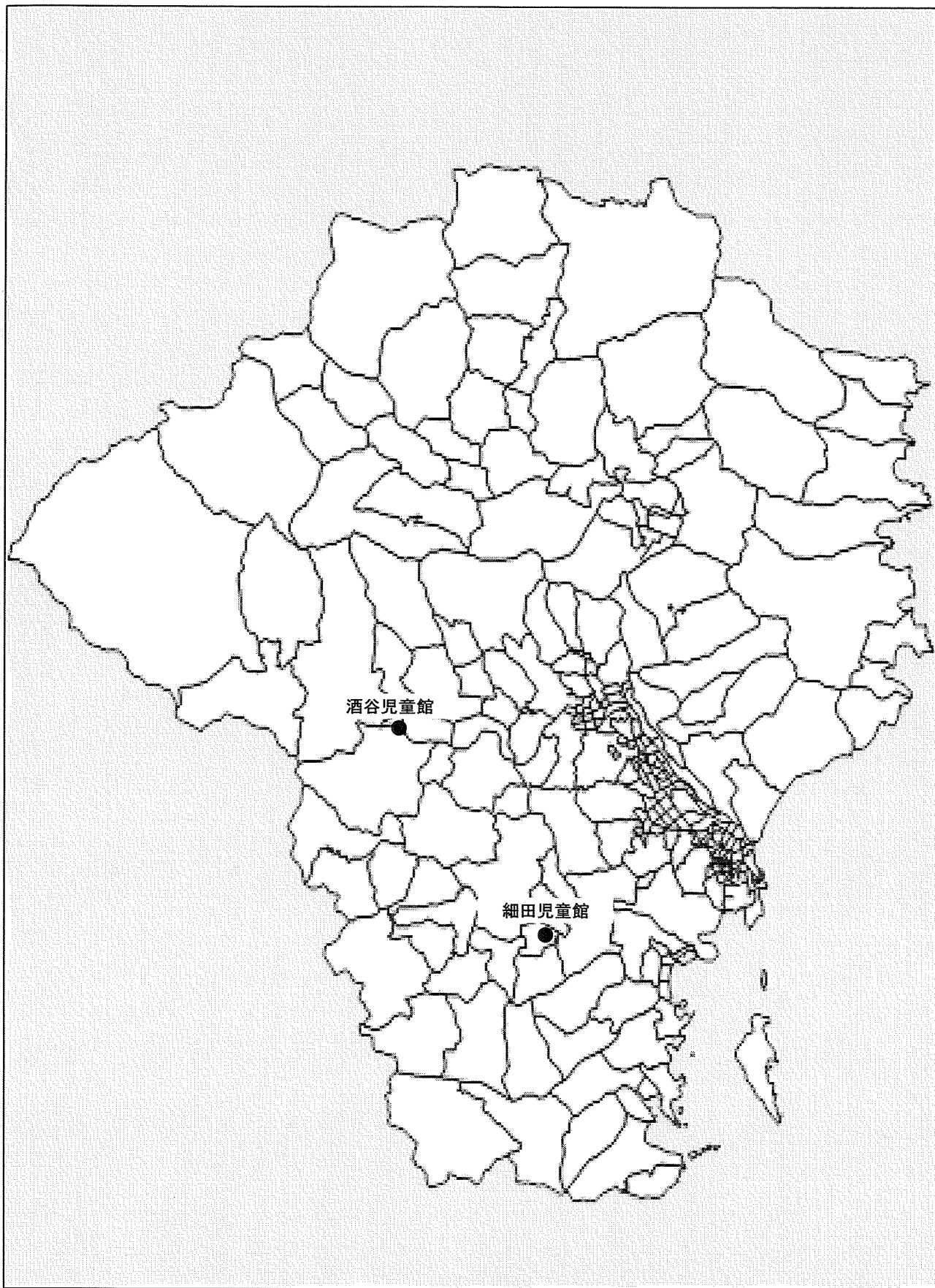
(2) 利用・運営状況

No.	施設名	総床面積 (㎡)	稼働日数 (日)	利用者数 (人)	年間コスト (円)	㎡当たりコスト (円)	1人当たりコスト (円)
1	細田児童館	298.00	294	7	17,234,999	57,836	2,462,143
2	酒谷児童館	169.00	294	4	17,482,411	103,446	4,370,603

(注1) 稼働日数、利用者数、年間コストは、過去3年間(H27~29年度)の平均を記載

(注2) 利用者数は、年度末時点の在籍者数の3年間平均値

5. 施設配置状況



6. 適正化計画

現状や課題、今後の考え方を踏まえ検討した適正化計画は次のとおりです。

(1) 今後の方針

No.	施設名	方針
1	細田児童館	保育ニーズの把握や地元との協議を行いながら、廃館、建物の取り壊し、跡地利用等について検討を行う。
2	酒谷児童館	保育ニーズの把握や地元との協議を行いながら、廃館、建物の取り壊し、跡地利用等について検討を行う。

(2) 計画期間内(7年)の対策内容及び対策費用

(単位:百万円)

No.	施設名	棟名称	項目	計画期間						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
1	細田児童館	保育室	対策内容					解体		
			対策費用					12		
2	酒谷児童館	児童館	対策内容				解体			
			対策費用				7			
合計										